

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（6月末現在）

令和4年（2022年）9月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

- 1 調査の趣旨
いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため
- 2 調査対象校 <計1,575校>

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校 ・小学校779校（義務教育学校前期課程含む） ・中学校475校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む） ・高等学校248校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く） ・特別支援学校67校

- 3 調査対象期間
令和4年（2022年）4月～令和4年（2022年）6月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対 応 状 況			
		2. 解消件数 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・心理的、物理的行為が止んでいない。 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和4年度 第1回 (4月～6月)	9,350	0 (0.0%)	9,328 (99.8%)	22 (0.2%)	0 (0.00%)
小学校	7,489	0 (0.0%)	7,476 (99.8%)	13 (0.2%)	0 (0.0%)
中学校	1,552	0 (0.0%)	1,552 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
高等学校	283	0 (0.0%)	274 (96.8%)	9 (3.2%)	0 (0.0%)
特別支援	26	0 (0.0%)	26 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合

◆ 前年度同期の調査結果

	1. 認知したいじめの件数	対 応 状 況			
		2. 解消件数 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過している。 ・心身の苦痛を感じていない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間（3か月程度）経過していない。 ・心理的、物理的行為が止んでいない。 ・心理的、物理的行為が止み、相当の期間（3か月程度）経過しているが、心身の苦痛を感じている。		4. その他
令和3年度 第1回 (4月～6月)	6,281	0 (0.0%)	6,260 (99.7%)	20 (0.3%)	1 (0.02%)
小学校	4,927	0 (0.0%)	4,924 (99.9%)	2 (0.04%)	1 (0.02%)
中学校	1,044	0 (0.0%)	1,034 (99.0%)	10 (1.0%)	0 (0.0%)
高等学校	281	0 (0.0%)	274 (97.5%)	7 (2.5%)	0 (0.0%)
特別支援	29	0 (0.0%)	28 (96.6%)	1 (3.4%)	0 (0.0%)

※（ ）は、認知したいじめの件数に対する割合